

PAT-NO: JP02002163073A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002163073 A  
TITLE: DOUBLE-SIDED TOUCH SCREEN

PUBN-DATE: June 7, 2002

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
INOUE, SHUICHI	N/A

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
INOUE SHUICHI	N/A

APPL-NO: JP2000403627

APPL-DATE: November 27, 2000

INT-CL (IPC): G06F003/033

**ABSTRACT:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device using a double-sided touch screen connected to a PC main body as a communication means.

SOLUTION: This double-sided touch screen connected to the PC main body is used as the communication means. By means of this double-sided screen, a handicapped person having difficulties in speaking can transmit his/her intention through voice and an image (including a character) to a partner by touching an icon, that is, a small image (including a character) expressing the intention. The both faces can be opened/closed according to the direction of users on both sides. This device allows easy interactive operation without using any conventional input device such as a keyboard and a mouse. When multiple touch screens are used, this device can be used by a plurality of users (three or more users). Including a physically handicapped person and an elder person having difficulties in speaking, any user capable of touching the device by his/her single finger is accessible to the device. The user can touch the screen by means of an auxiliary rod having a soft rubber tip at the end by holding the auxiliary rod in his/her mouth.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-163073

(P2002-163073A)

(43) 公開日 平成14年6月7日(2002.6.7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	テマコード(参考)
G 0 6 F 3/033	3 6 0	G 0 6 F 3/033	3 6 0 A 5 B 0 8 7 3 6 0 P

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2000-403627(P2000-403627)

(22) 出願日 平成12年11月27日(2000. 11. 27)

(71) 出願人 599127483

井上 秀一

東京都日野市新町3丁目15番地の1日野新  
坂下住宅5の103

(72) 発明者 井上 秀一

東京都日野市新町3丁目15番地の1日野新  
坂下住宅5の103

Fターム(参考) 5B087 A400 CC12 DD02 DE03

(54) 【発明の名称】 両面タッチスクリーン

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】この発明は、PC本体に接続した両面タッチスクリーンをコミュニケーションの手段にした装置。

【解決手段】この発明はPC本体に接続した両面タッチスクリーンを、コミュニケーションの手段にしたものである。ことばが不自由な障害者が、意思表示が描かれたアイコン即ち小さな画像(文字を含む)をタッチすることで、相手に音声と画像(文字を含む)で、自らの意思を伝達する装置である。両面を双方の使用者の向きに合わせて開閉することができる。従来の入力装置であるキーボード、マウスを一切使わず、双方向で簡単に操作することができる。タッチスクリーンを多面にすることで複数(3人以上)でも使用できる。ことばが不自由で肢体不自由の方、高齢の方でも一本の指でのタッチが可能ならば使用できる。また補助的な棒(先端に柔らかいゴムがついたもの)を口にくわえてタッチすることも出来る。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】PC本体に接続した両面タッチスクリーン上のアイコンをタッチすることで、双方向で音声と画像により、或いは音声と画像と文字により意思を伝達する装置。

【請求項2】請求項1の両面タッチスクリーンを、多面にした意思伝達装置。

【請求項3】請求項1の両面スクリーンの一方側、請求項2の多面スクリーンの一部をタッチパネルをつけないスクリーンとした意思伝達装置。

## 【発明の詳細な説明】

この発明はPC本体に接続した両面タッチスクリーンをコミュニケーションの手段にしたものである。ことばが不自由な障害者が、意思表示が描かれたアイコン即ち小さな画像（文字を含む）をタッチすることで、相手に音声と画像（文字を含む）で、自らの意思を伝達する装置である。両面を双方の使用者の向きに合わせて開閉することができる。従来の入力装置であるキーボード、マウスを一切使わず、双方向で簡単に操作する事ができる。タッチスクリーンを多面にすることで複数（3人以上）

の方でも一本の指でのタッチが可能ならば使用できる。また補助的な棒（先端に柔らかいゴムがついたもの等）を口にくわえてタッチすることも出来る。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の側面図

【図2】本発明の右斜視図

【図3】本発明の左斜視図

【図4】本発明の両面タッチスクリーンを双方の使用者の向きに合わせて開いた斜視図

10 【図5】本発明の多面タッチスクリーンの斜視図

【図6】本発明をノートパソコン用のスクリーンに使用した場合の斜視図

## 【符号の説明】

(1) はタッチスクリーン

(2) は両面タッチスクリーンの左斜視図

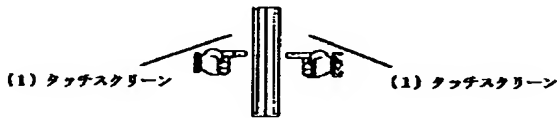
(3) は両面タッチスクリーンの右斜視図

(4) は両面タッチスクリーンを使用者の向きに広げた側面図

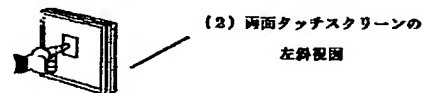
(5) は多面タッチスクリーン斜視図

20 (6) は両面タッチスクリーンをノートパソコン用に設計した斜視図。

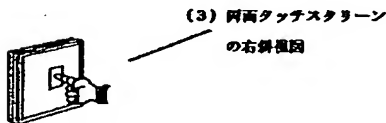
【図1】



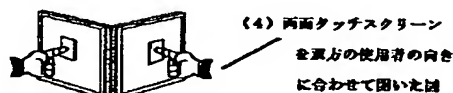
【図2】



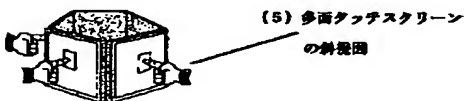
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

